

代理店業務情報セキュリティに関する基本方針

(セキュリティポリシー)

代理店名：株式会社日専連ホールディングス

1. 基本方針

当社は生命保険・損害保険代理店業務の運営にあたり、情報資産を適切に保護することが社会的責任であると認識し、機密性・完全性・可用性を確保するため、適切な情報セキュリティ対策を実施します。

2. 適用範囲

本ポリシーは生命保険・損害保険代理店業務に係る役員・従業員に適用します。
対象となる情報資産は、以下を含みます。

- 1) 顧客情報
- 2) 個人情報
- 3) 業務データ
- 4) システム・ネットワーク
- 5) 書類・媒体等

3. 情報資産の管理体制

1) 代理店システムへのアクセス管理

- (1) 保険募集人資格を有する従業員のみアクセスを許可します。
- (2) ID・パスワードは適切に管理します。

2) パスワード管理

- (1) 推測困難なパスワードを設定します。
- (2) パスワードの使い回し、共有を禁止します。
- (3) パスワードは定期的に変更します。

3) データ管理

不用になったデータは適切に廃棄します。

4. 技術的対策

当社は技術的対策として以下の対策を実施します。

- 1) ウイルス対策ソフトの導入
- 2) OS・ソフトウェアの最新化
- 3) ファイアウォールの設置
- 4) 通信の暗号化 SSL の採用。
- 5) クラウドサービスの適切な実施。

5. 物理的管理

当社は書類の物理的管理に関して、以下のとおり管理します。

- 1) 施錠管理
書類保管は施錠管理とます。
- 2) 書類の持ち出し管理
書類の持ち出しは台帳を作成し、記録管理します。
- 3) 不用になった書類管理
不用になった書類はシュレッターまたは専門業者による焼却による廃棄とします。

6. 教育・研修

生命保険・損害保険業務に係る従業員に対し、定期的に情報セキュリティ教育を実施します。

7. インシデント対応

情報漏洩、不正アクセス等が発生した場合、速やかに状況把握し、担当保険会社および監督庁へ連絡するとともに原因調査・影響範囲の特定に努め、再発防止策を実施します。

8. 継続的改善

本ポリシーおよび対策は、定期的に見直し、改善に努めます。

2026年2月27日制定